Tropical Agriculture and Development 投稿規定

2013年4月1日改訂

1. 指針

Tropical Agriculture and Development (TAD) は熱農学会から発行される英文国際誌である。他誌へ投稿中または既に出版されていない、オリジナルな論文だけを受け付ける。

2. 論文の対象範囲

TAD の掲載論文は、熱帯または亜熱帯の農業に関する社会科学から自然科学を含む領域の研究を対象とする. 投稿論文には熱帯農学における新しい知見が期待される.

3. 論文の種別

TAD は次の5つの論文

原著論文(長報)

原著論文 (短報)

総説

情報

資料 を掲載する.

原著論文(長報・短報)は、科学的分析あるいは学術的論考により得られた新しい発見、技術、または考え方を含む新規性の高い学術研究報告であり、十分なデータまたは論拠に基づく明快な論旨がなければならない。短報は、原著論文のうち、コンパクトながら十分な新規性とインパクトのある発見を速やかに公表するものである。総説は、特定分野の課題に関連する研究成果を網羅的に概観し、著者独自の観点によってとりまとめた論説であって、文献にはよるものの論点には新規性がなければならない。情報は、熱帯農業の現状把握や実態解明のための現地調査報告、または熱帯農業に関する特定の課題に焦点を当てたモノグラフであって、入手困難な情報を提供する。資料は、入手困難でかつ重要な資料・統計・データなどを一定のテーマに沿って整理し、とりまとめた解説である。

4. 論文原稿の作成要領

[1] ページ数

原著論文(長報),総説,情報,資料の原稿の長さは本誌刷り上がり6頁以内とする。ただし、これを超過する場合は超過分に応じて著者が費用を負担する(費用については項目8を参照).短報は本誌刷り上がり3頁以内とし、超過分を著者が負担する場合は超過限度を2頁までとする。作成要領(4-[2]ページ設定)に従って作成された原稿では2頁が刷り上がり1頁くらいに相当する。

[2] ページ設定

A4サイズ横書きとする。左右に25mm以上の余白を取る。 Times フォントで文字の大きさを11ポイント,1頁25行,1行75文字程度とする。用紙の左側余白部に本文はじめから5行毎の通し番号を,用紙の下端部中央に頁数を記入する。

[3] 原稿の構成

原稿は表題,ランニングタイトル,著者名,所属機関名と 所在地,要約,キーワード,本文(緒言,材料および方法, 結果,考察,引用文献などを含む),図表と写真およびキャ プションの順で構成する. 本文の書き出しは頁を改めてはじめる.

表題とランニングタイトル

表題は十分に内容が分かるようにかつ簡潔に書く.太字,前置詞と接続詞を除く単語の頭文字を大文字にする.ランニングタイトル50字以内,太字にせず,大文字にしない.下の例に示すように,表題の頁に論文種別,表題,ランニングタイトル,著者名,所属機関,責任著者のメールアドレスを明示する.

著者名

著者名はイニシャルで省略せず、名 - 姓の順で表記する. 姓はイニシャルの大文字に続けて小型英大文字で表記する. 著者が 2 名の場合は and でつなぐ. 3 名以上の場合はコンマで区切り、最後の著者名の前に and をいれる. 責任著者を「*」で示す.

所属機関と所在地

所属機関,所在地,郵便番号,国名の順にイタリック体で 記す.

Type of article:

Original article (full paper)

Title:

Wild Mangoes in Mainland Southeast Asia:

Their Local Names, Uses, and Growing Environments

Running Title:

Wild mangoes in mainland Southeast Asia

10 Authors:

Yumi UEDA^{1,2}, Hirokazu HIGUCHI^{1*}, and Eiji NAWATA³

Affiliated Institution:

- ¹ Graduate School of Agriculture, Kyoto University, Kitashirakawa, Sakyo-ku, Kyoto 606-8502, Japan
 - ² Wild Mango Research Center, Kasetcharoeng, Bangkok, 10110, Thailand
 - ³ Faculty of Agriculture, Kyoto University, Kitashirakawa, Sakyo-ku, Kyoto 606-8502, Japan

*Corresponding author

higuchi@kais.kyoto-u.ac.jp

25

20

TAD 投稿規定

要約

X

原著論文(長報)では240語以内, 1 段落とする. **総説,情報,資料**にはなくてもよい. **短報**にはつけない.

キーワード

原著論文(長報),総説,情報,資料のキーワードは6語 以内とし、短報は3語以内とする.頭文字は大文字とし、 コンマで区切り、アルファベット順に配列する.表題に含 まれない単語が望ましい.

本文

大項目(緒言,方法,結果,考察,引用文献など)の見出しは中央寄せ太字,小項目は左寄せイタリック体とする. 中項目を設ける場合は左寄せ太字とする.ただし,論文の内容によっては緒言・方法・結果・考察の構成によらなくてもよい.動植物学名は国際命名規約に依拠してイタリックで示す.ラテン語や現地語方名などは小文字イタリックで表記する.物質名を略記する場合には初出箇所で正式名称を示し,括弧内に省略形を示す.国際単位(SI単位)系を用いる.

謝辞・脚注

謝辞をつける場合には考察の後に配置する. 助成金などの外部資金は謝辞に記す. 脚注をつける場合には, 本文中に当該箇所を1)2)3)…の上付で示し,引用文献の前に脚注を列記する.

引用文献

本文中で文献を引用する場合は著者名と西暦を記す. 著者が2名の場合は and でつなぐ. 3名以上の場合は筆頭著者に続けて et al. とする. 複数の文献を同時に引用する場合は発表年の順とする. 以下に例を示す:

···(Yamada, 2012).

Yamada and Tanaka (2012) ···

 \cdots (Williams *et al.*, 1996; Williams and Johnson, 2001; Williams, 2002).

引用された文献はすべて引用文献リストに下記の例のように列記しなければならない。配列の順序は第1著者名のアルファベット順とする。第1著者名が同じ場合は第2著者名以下のアルファベット順とする。すべての著者名が同じ場合は発表年の順とする。著者名が同じで発表年も同じ場合、発表年のあとにアルファベットを付して2000a,2000bのように区別する。著者が3名以上のとき、第1著者名が同じで発表年も同じ場合には、第2著者名が異なっていても、年にアルファベットを付けて区別しなければならない。英文でない文献は、(in Vietnamese with French summary) などと付記して言語を明示する。受理されたが出版されていない文献には"in press"と付ける。

[i] 学術雑誌·定期刊行物

Nguen, T. V. 2009. Effects of paclobutrazol in off-season flower induction of 'Kho qua xanh' durian. Proceedings of the 13th Symposium on Fruit Production in the Mekong Delta. Hue University (Vietnam) Dec. 15-18, 2008. pp.10-12. (in Vietnamese with French summary)

Richter, M., H. George, and G. W. Turner 2012. Effects of

- summer pruning on winter growth of atemoya cv. Jeffner. Jpn. J. Trop. Agr. 5: 233-238.
- Williams, A. L., C. Johnson, and J. Smith 2012. Traditional agriculture in the Philippines: A progress report. Trop. Agr. Develop. 45: . (in press)
- Yamada, T., T. Endo, and I. W. Harper 2012a. Yield components of rain-fed paddy fields in Northeast Thailand. Hawaii Agr. Exp. St. Tech. Bull. **179**: 1134-1142.
- Yamada, T. and H. Tanaka 2011. Useful tropical plants in Okinawa. Res. Trop. Agr. **33**: 54-57. (in Japanese with English summary)
- Yamada, T., I. Tanaka, and I. W. Harper 2012b. Soybean protein which was isolated from okara and its isolation methods. Nippon Shokuhin Kogyo Gakkaishi 40: 32-33. (in Japanese)

[ii] 本

- Food and Agriculture Organization of the United Nations (FAO). 2009. Production Yearbook. Vol. 45. FAO (Rome) p.120.
- Martin, J. P., E. L. Bernard, and R. T. Dubois 2010. Productivity of root and tuber crops in tropical wetland. In: Plants and People in Asia. (Moreau, W. C. ed.) Lutetia Academic Press (Paris) pp. 225-230.
- Morton, J. F. 1987. Mango. In: Fruits of Warm Climates. Julia F. Morton (Miami) pp. 221-239.
- Williams, A. 2010. Changing Climate Threat against Sustainable Tropical Agriculture. (Yamada, T. and I. Tanaka, translated) Kyoto University Press (Kyoto) p.402.
- Yonamine, K. and T. Ishimine 1931. Toubarunouen no nettai shokubutsu. In: Ryukyu Ouchou no Rekishi. [Tropical plants in Toubaru Garden. In: The History of Ryukyu Dynasty] Okinawa Press (Naha) pp. 126-139. (in Japanese)

[iii] ウェブサイト

- FAO 2011. Food Production. In: FAOSTAT. [Online] http://fao.org./20121.en/ (browsed on Jan. 12, 2011).
- Suzuki, T. 2012. Sustainable agricultural practice with minimal irrigation supply in the tropical semi-arid regions. [Online] http://www.jstajournal.jp/ J. Hort. Trop. doi: 12.3456/abc-123.
- World Health Organization (WHO) 2012. Chapter 1. Guideline for drinking-water quality. In: World Situation for Water Management. pp.5-12. [Online] http://www.who. int/water_sanitation_health.pdf (browsed on May 15, 2012)

短報では雑誌に掲載の論文のタイトルは省略する(以下に例). 本のタイトルは省略しない.

- Nguen, T. V. 2009. Proceedings of the 13th Symposium on Fruit Production in the Mekong Delta. Hue University (Vietnam) Dec. 15-18, 2008. pp.10-12. (in Vietnamese with French summary)
- Richter, M., H. George, and G. W. Turner 2012. Jpn. J. Trop. Agr. 5: 233-238.

TAD 投稿規定 xi

Williams, A. L., C. Johnson, and J. Smith 2012. Trop. Agr. Develop. 45: . (in press)

Yamada, T., T. Endo, and I. W. Harper 2012a. Hawaii Agr. Exp. St. Tech. Bull. **179**: 1134-1142.

Yamada, T. and H. Tanaka 2011. Res. Trop. Agr. 33: 54-57. (in Japanese with English summary)

Yamada, T., I. Tanaka, and I. W. Harper 2012b. Nippon Shokuhin Kogyo Gakkaishi 40: 32-33. (in Japanese)

図表および写真

図表、写真、または組写真によるプレートは1頁に1つとする。表の題は表の上に、注などは表の下に記入する。図の題、注などは図の下に記入する。補足的な説明は図表の下に続ける。表はTable と表記し、図はFig.と略す。表に縦罫を入れない。図と写真はそのまま印刷可能な鮮明なものに限る。

5. 原稿の提出方法

原稿はPDF化し電子メールで投稿する. 原稿送り状(様式 E-1)を添付する. 論文原稿の送り先は下記の編集幹事宛とする.

E-mail: jsta_edi@trop-agri.jp

日本熱帯農業学会編集事務局

〒 305-8572 茨城県つくば市天王台 1-1-1

筑波大学大学院生命環境科学研究科生物圏資源科学専攻内

FAX: 029-853-5928

6. 査読プロセスと掲載の決定

投稿された論文原稿の内容を編集幹事が確認したら、受付をメールで著者に知らせる.提出された原稿に対して、複数の査読者による査読が行われる.原則として2ヶ月以内に査読結果を著者に伝える.編集委員会より原稿の改訂が求められた場合は、著者は3ヶ月以内に対応をしなければならない.改訂原稿は、さらに再審査を受ける場合もある.修正を求められて3ヶ月以内に対応されなかった原稿は無

効となる. 編集委員会が掲載の可否を最終決定する.

7. 掲載決定後の手続き

掲載決定後、掲載決定が通知される。その後も編集委員会が簡単な語句の修正を求めることがある。編集委員会が必要と判断した場合には英文の簡易校閲を専門業者に依頼し、実費は著者に請求する(項目8. 費用を参照).著者は、編集可能な形式で保存したデジタルデータとともに送り状(様式:E-2)を提出する。印刷会社から初校原稿が送られ、初校における簡単な字句の訂正のみ著者校正とする.

8. 費用

論文(**原著論文・短報・総説・情報・資料**)の投稿と掲載 にかかる費用

論文投稿料:10,000円(筆頭著者または責任著者が会員

の場合は無料)

論文掲載料:原著論文(長報)·総説·情報·資料20,000円,

短報10,000円

超過頁代金:1頁につき20,000円(頁数の規定は4-[1]

を参照する)

カラー印刷:実費

別刷代金:PDFファイルを無償配布する. 著者が希望

する場合, 別刷10部を1万円, その後10部ご

とに1,000円で有償配布する.

英文校閲(項目9参照):実費を著者に請求する(ドラ

フト原稿10頁1万円程度).

著者全員が途上国に在住する外国人で、編集委員会によりきわめて優れた原稿であると判断された場合、論文投稿料・論文掲載料を無料とし、超過頁代金を半額にする。その他は実費とする。

9. 著作権

本誌に掲載された記事の著作権は日本熱帯農業学会に帰属する.